

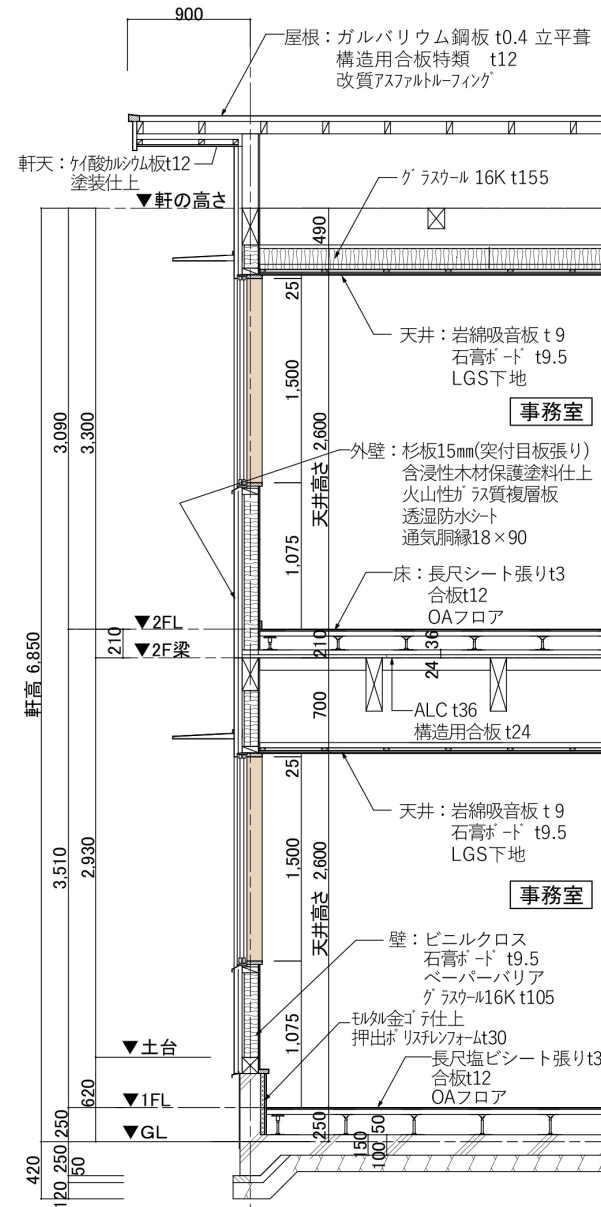


■基本データ

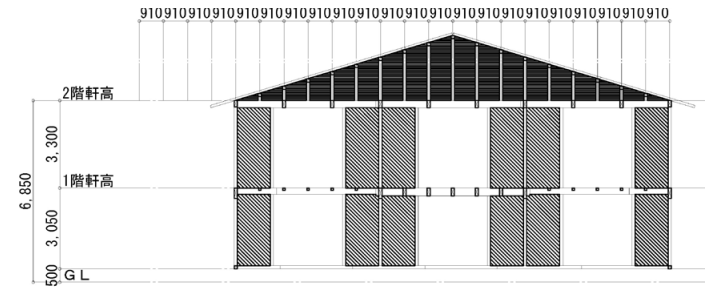
- | | |
|-------------|----------------------------|
| 延べ面積 | 790㎡ |
| 天井高 | 1 階：2,600mm
2 階：2,600mm |
| 構造用製材の使用比率 | 53.27% |
| 構造用木材使用量 | 69.7㎡ |
| 構造材による炭素貯蔵量 | 44 t - CO ₂ |

・ 木造躯体の現し、内装木質化などによる業務効率向上や、CO2 削減への配慮等の企業理念の PR による企業価値向上の効果にも期待

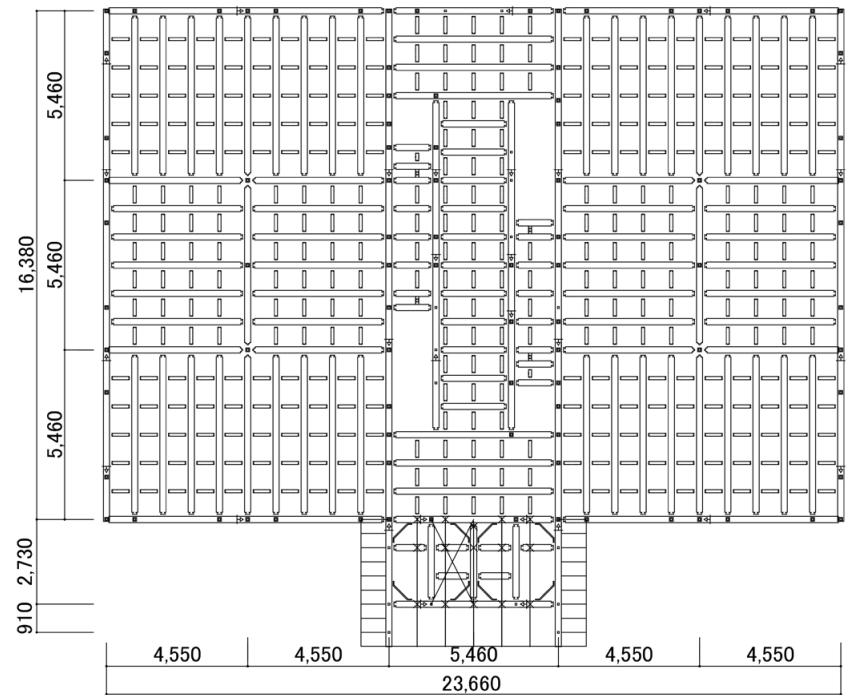
8 働きがいも経済成長も 働きがいも経済成長も 地域材の活用を推進することにより、生産活動や雇用の創出を促進	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 産業と技術革新の基盤をつくろう 木材の幅広い活用方法を提案	11 住み続けられるまちづくりを 住み続けられるまちづくりを 国産材活用を促進することで森林の健全な循環利用・二酸化炭素吸収・循環型社会構築に貢献	12 つくる責任つかう責任 つくる責任つかう責任 木材の活用により、森林資源の持続可能な運営に貢献すると共に、都市に固定した木材(炭素)を継続的に維持管理活用	13 気候変動に具体的な対策を 気候変動に具体的な対策を 炭素の固定等のはたらしきをもつ木材の利用により地球温暖化の防止に貢献	15 陸の豊かさも守ろう 陸の豊かさも守ろう 木材の利用により持続可能な森林経営に貢献	17 パートナリシップで目標を達成しよう パートナーシップで目標を達成しよう 地域生産者（木材産業・木造建築等）のパートナーシップの活性化により、持続可能な地域社会を推進
---	--	--	--	--	--	--



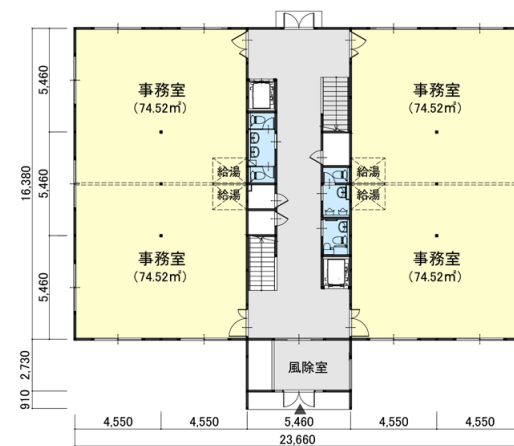
矩計図
2階床の遮音性向上のため 36mm厚 ALC 板を敷設



土台	ヒノキ製材	無等級材	120×120
柱	ヒノキ製材	無等級材	120×120
	ベイマツ集成材	E135-F375	120×120
大梁	スギ+ベイマツ異樹種集成材	E120-F330	120×270～390
	ベイマツ集成材	E135-F375	120×390
小梁	スギ製材	無等級材	120×150～240
	スギ+ベイマツ異樹種集成材	E120-F330	120×300～390
小屋梁	スギ製材	無等級材	120×150～240
	スギ+ベイマツ異樹種集成材	E120-F330	120×270～390



スパンは $5.64 \times 4.55\text{m}$ と $5.64 \times 5.64\text{m}$ の組み合わせとし、小梁を市松状に掛けて荷重を分散



地方都市の賃貸オフィス需要を考慮し、75㎡程度の
事務室を各階4室、計8室配置



木製の腰板張りと階段により温かみのある空間を演出



■建築計画

- ・建物の中心に共用のホールを設け、5.4×5.4m スパンを組み合わせて約 180㎡の事務室を各階に 2 室配置。
- ・木質化した温かみのあるエントランスホールには来客対応が可能な快適なパブリックスペースを配置。
- ・事務室の出入口をほぼ中央に配置し、効率の良い分割活用が可能。

■構造・構法計画

- ・柱、梁、腰壁で構造を成立させ、開放的で軽快な木造事務所空間を形成。
- ・2 階床の小梁を市松状に配置して大梁の負担荷重を均一にし、2 階床梁の梁成を 450mm に統一。

■基本データ

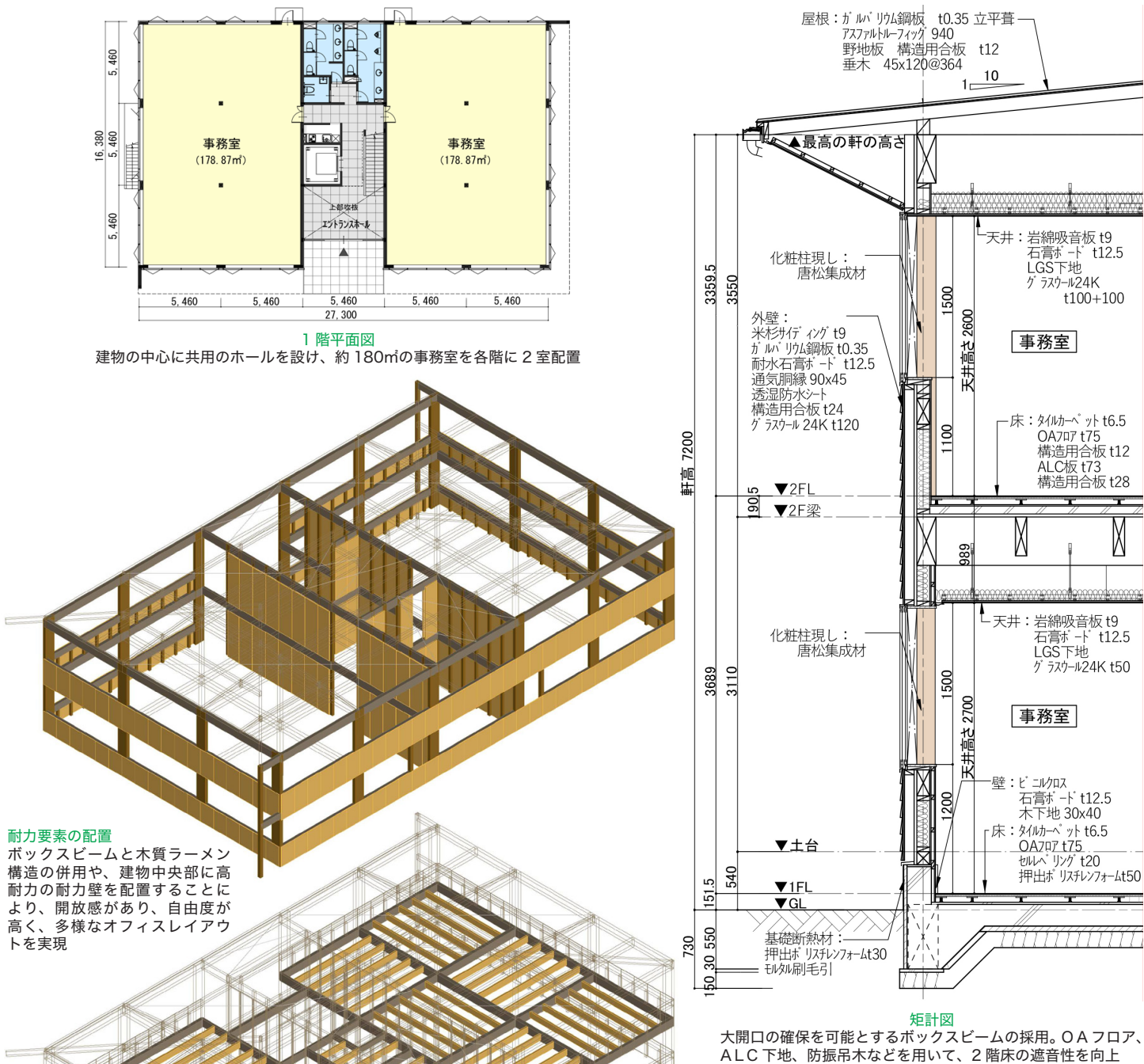
延べ面積	865.13㎡
天井高	1 階：2,700mm 2 階：2,600mm
構造用製材の使用比率	13.84%
構造用木材使用量	99.7㎡
構造材による炭素貯蔵量	77t - CO ₂

■アピールポイント

(1) 木造らしさを体感できる木質感のあるしつらえ	・水平ラインを強調した開口部を設け、木柱が浮かび上がるデザインや、内壁の一部に国産材の CLT 耐力壁を現しとし、温かみのある内部空間を形成
(2) 多様な規模・レイアウトの執務スペースに対応できる構造システム	・ボックスビームと木質ラーメン構造の併用や、建物中央部に高耐力の耐力壁を配置することにより、開放感があり、自由度が高く、多様なオフィスレイアウトに配慮
(3) 建設地で調達しやすい地域材・国産材の活用	・規格流通材の活用、極力住宅用プレカット加工機を用いて加工できる部材寸法に納めること、耐力壁の CLT は厚みの薄い材を活用すること等により、運搬コストの低減や施工性の向上を考慮
(4) 地域工務店等が取り組みやすい材料・加工や施工法	・地域工務店による施工性に配慮し、ベタ基礎や金物接合構法等の一般的な構法を採用
(5) 建物工事費及び工期の縮減	・木材は主に地域産材を用いて、輸送コストを削減
(6) 多様な建物要求性能への対応	・OAフロア、ALC 下地、防振吊木などを用いて、2 階床の遮音性を向上 ・軒の出を確保し、外壁板張りには保護塗装を塗布し、劣化軽減に配慮
(7) その他	・ホールの内壁で外壁と繋がる部分は外壁と同一の木板材を用い、内外の連続性を強調

■SDGs への貢献

8 働きがいも経済成長も 労働者の権利を保護と社員の安全・安心な労働環境の確保	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 地域工務店、木材関連業者との連携により、木造化モデル案を普及させ、産業と技術革新の基盤をつくる	11 住み続けられるまちづくりを 大気への影響と廃棄物の管理状況を定期的な監視し、改善	12 つくる責任つかう責任 産業廃棄物を管理し 3R(Reduce, Reuse, Recycle) の推進でごみを削減	13 気候変動に具体的な対策を 国産材を使った多様な規模・階数の木造建築をつくることで CO ₂ を大量に固定化し、地球温暖化防止に貢献	15 陸の豊かさを守ろう 森林保全や適切な木材の利用を推進する森林認証を取得し、クリーンウッド法に基づく登録を行い、合法伐採木材等を利用	17 パートナリシップで目標を達成しよう 木造建築の技術を海外に発信。環境に優しい木造都市づくりをグローバルに展開
---	---	---	--	---	--	---



■主な構造部材

土台	ヒノキ集成材	E95 - F270	120×120
柱	スギ製材 カラマツ集成材	乙種二級 E95 - F270	120×120 ~ 300 180×180/600、210×210
大梁	カラマツ集成材	E95 - F270	120 ~ 210×450
小梁	カラマツ集成材	E95 - F270	105 × 360
小屋梁	スギ製材 カラマツ集成材	甲種二級 E95 - F270	120×150 120×450、180×450



1 階エントランスホール内観
木質化した温かみのあるしつらえとし、来客対応が可能な快適なパブリックスペースを配置



■ 建築計画

- ・コアを片側に寄せて配置し、5.5×5.5m スパンの組み合わせにより、各階にまとまりのある約 330㎡のオフィス空間を配置。
- ・テラスやバルコニーなどの半屋外空間を設け、快適な「スローリビングオフィス」を配置。

■ 構造・構法計画

- ・梁成が規格流通材の部材寸法で納まるよう、5.5×5.5m のグリッドプランを採用
- ・5.5m のスパンを確保するため、小梁は市松状に架構方向を変えて大梁への荷重集中を極力避けるよう配慮。

■ 基本データ

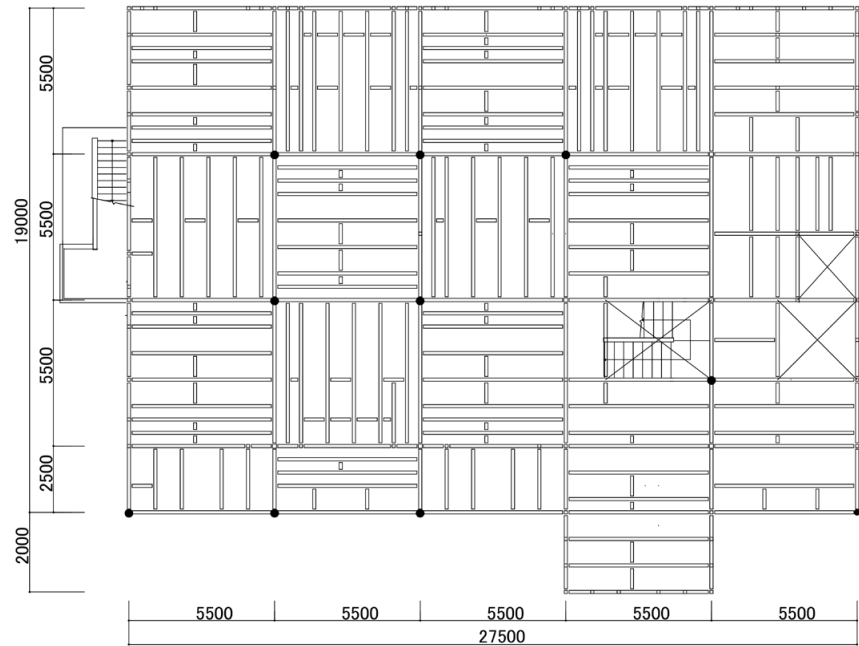
延べ面積	959㎡
天井高	1 階：2,600mm 2 階：2,600mm
構造用製材の使用比率	0%
構造用木材使用量	81㎡
構造材による炭素貯蔵量	59t - CO ₂

■ アピールポイント

- | | |
|------------------------------------|--|
| (1) 木造らしさを体感できる木質感のあるしつらえ | ・適所に木造躯体を現し、エントランス、打合せエリアに内装木質化を図り、Well-Being に配慮した居心地のよい執務空間を形成 |
| (2) 多様な規模・レイアウトの執務スペースに対応できる構造システム | ・フレキシブルな事務所レイアウトを可能とするため、耐力壁は外周部やサービス部に配置 |
| (3) 建設地で調達しやすい地域材・国産材の活用 | ・梁は幅 120mm、柱は 120 角（一部除く）で規格流通材を使用。内装に使用する木材には地域材を活用し、地元へ貢献 |
| (4) 地域工務店等が取り組みやすい材料・加工や施工法 | ・提案事業者特有の構法であり、全国（沖縄除く）の事業所にて対応が可能 |
| (5) 建物工事費及び工期の縮減 | ・提案事業者特有の工業化住宅のシステムを活用して工場生産比率を高め、現場工期を短縮
・プレカット比率を高めることにより、現場加工が減少し廃材も減量が可能 |
| (6) 多様な建物要求性能への対応 | ・2 階床の遮音性確保のために、1 階天井と 2 階床を構造的に縁を切って設置
・躯体など木質化した木部上部には極力軒を設け、耐候性塗料により耐久性に配慮 |
| (7) その他 | ・内装木質化を図る材は、極力地域産材を活用
・サッシなど断熱性能とコストバランスのよい住宅部材を極力活用 |

■ SDGs への貢献

8 働きがいも経済成長も 国産材の活用による地域活性化	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 什器や家具でも木質化を推進	11 住み続けられるまちづくりを 国産材活用による森林保全と都市での豊かな空間の提案	12 つくる責任つかう責任 —	13 気候変動に具体的な対策を 木材活用で炭素固定を図り温暖化防止に貢献する	15 陸の豊かさを守ろう FSC 認証材の使用など適切な森林管理	17 パートナリシップで目標を達成しよう 木造建築への理解を図り、環境にも人にも社会にも貢献
---------------------------------------	---	--	---------------------------	--	--	--



2 階床伏図

5.5m のスパンを確保するため、小梁は市松状に架構方向を変えて大梁への荷重集中を極力避けるよう配慮



1 階エントランスホール内観

木造躯体現しや内装材に効果的に木材を用いて Well-Being に配慮した居心地のよい執務空間を形成

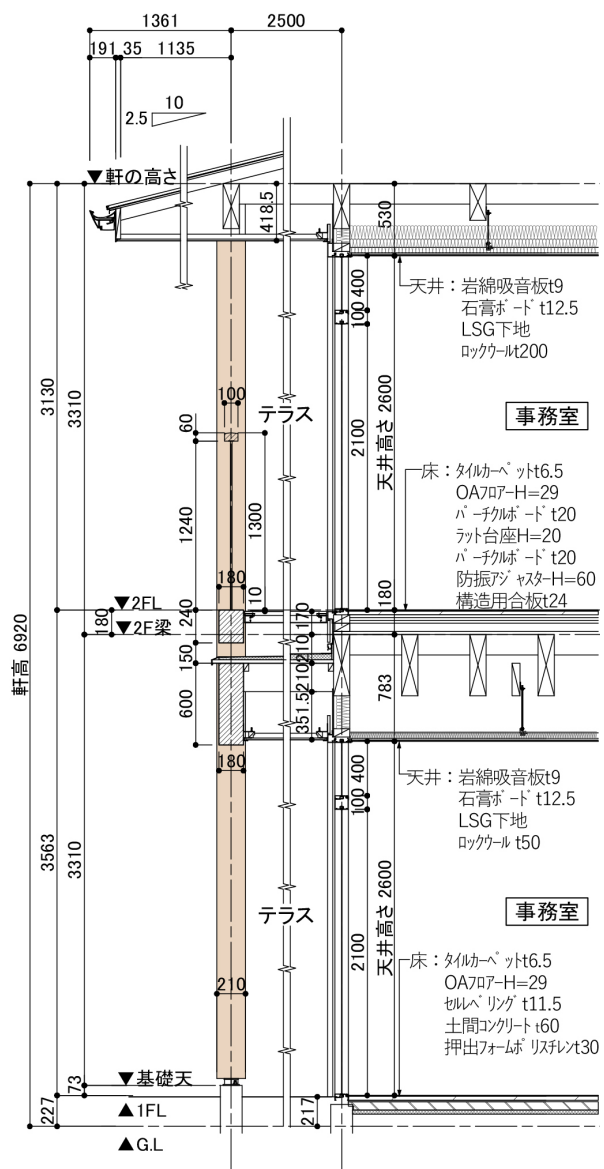


2 階オフィス内観

木質化した内装に加え、半屋外のバルコニーに面した自然を感じられる快適な打合せエリア

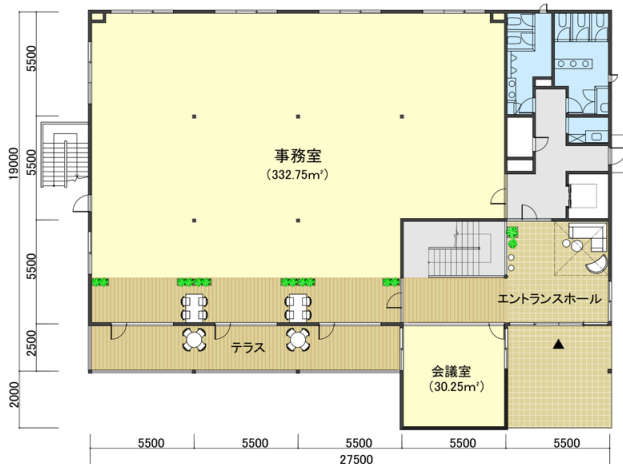
■ 主な構造部材

土台	土台レス（柱を基礎に金物で直接接合）
柱	スプルース集成材 E95-F315 120×120 オウシュウアカマツ集成材 E95-F315 150×150
大梁	スプルース集成材 E120-F330 120×330～450
小梁	スプルース集成材 E120-F330 120×150～210
小屋梁	スプルース集成材 E120-F330 120×150～450



矩計図

2 階床の遮音性確保のために、1 階天井と 2 階床を構造的に縁を切って設置。木質化した外壁上部には極力軒を設け、耐久性に配慮



1 階平面図

コアを片側に寄せて配置し、5.5×5.5m スパンの組み合わせにより、まとまりのある約 330㎡のオフィス空間を配置